

平成25年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	地球地図整備等経費		担当部局庁	国土地理院		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	H20～		担当課室	応用地理部企画課		課長 河瀬 和重	
会計区分	一般会計		政策・施策名	10 国土の総合的な利用、整備及び保全、国土に関する情報の整備 38 国土の位置・形状を定めるための調査及び地理空間情報の整備・活用を推進する			
根拠法令(具体的な条項も記載)	測量法(第4条、第11条～第31条)		関係する計画、通知等	基本測量に関する長期計画(平成21年策定)			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地球全体の基盤的地理情報を概ね5年毎に時系列データとして計画的かつ着実に整備・提供するとともに、地球地図国際運営委員会及び国連地球規模の地理空間情報管理に関するアジア太平洋地域委員会の活動を支援することにより、国際社会における環境保全を考慮した持続可能な開発の推進をはじめとした我が国の国際貢献に資する。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	1)最新の人工衛星データを取得・処理し、信頼性の高い地球地図データを整備する。 2)地球地図の品質を確保するため、品質管理のプログラムの検証と改良を行う。 3)地球地図関連国際会議の技術資料等を作成し、国内外関係機関との調整を図りながら、地球地図国際運営委員会を支援する。 4)国連地球規模の地理空間情報管理に関するアジア太平洋地域委員会の主要機関として、加盟各国及び国内関係機関との連絡調整、委員会開催国との打合せ、各種資料作成等を実施することにより委員会活動を支援する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算	46	45	39	31	
		繰越し等			△1		
		計	46	45	38	31	
	執行額	46	38	38			
	執行率(%)	99.0%	84.0%	99.6%			
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	地球地図データのダウンロード数(砂漠化、森林減少等の地球環境の現状把握、大規模災害等への対処、各種教育等に利用されている。)		成果実績	件	80,475	72,847	55,298
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	地球地図データ作成における整備面積とする。		活動実績(当初見込み)	万km ²	565	565	1,138
単位当たりコスト	地球地図データ整備 2.11円/km ²		算出根拠	単位あたりコスト=X/Y X:地球地図データ整備に関する予算執行額(H24年度は24.001百万円) Y:整備量 1,138万km ²			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	職員旅費	0					
	政府開発援助職員旅費	0					
	庁費						
	測量庁費	20					
	政府開発援助測量庁費	10					
計	31						

事業所管部局による点検															
	項目		評価	評価に関する説明											
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	「ヨハネスブルグサミット実施計画文書」(平成14年国連)に、「地球地図のためのイニシアティブとパートナーシップを促進すること」と明記されているように、持続可能な発展を実現する上で必要な「環境へのインパクト、土地利用及び土地利用の変化に関する高精度なデータを収集するため」(同文書)、日本のみならず国際的にも必要とされている基盤的地理情報であり、国家測量機関である国土地理院が実施すべきである。											
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○												
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○												
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	事業目的に沿って予算の執行しており、その執行状況等を適切に把握・確認している。 請負契約の発注方法は、一般競争入札を原則とし、透明性・公平性・競争性の確保に努めている。											
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—												
	単当たりコストの水準は妥当か。		○												
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—												
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○												
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—													
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	世界各国の国家測量機関と調整し、地球地図の整備推進を図っている。 プロジェクト参加国数が166国、16地域(H25.5月現在)、データ公開国数が117ヶ国・地域(H25.5月現在)、及びデータのダウンロード数が約5.5万件(H24)であり、成果は、砂漠化、森林減少等の地球環境の現状把握、大規模災害等への対処など、様々な分野に活用されている。 成果の活用を促進するため従来から大学等と連携を図っているが、土木研究所等の研究機関とも連携を図り、成果の利活用に努めている。											
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○												
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○												
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業番号</th> <th>類似事業名</th> <th>所管府省・部局名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>			事業番号	類似事業名	所管府省・部局名						
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名												
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・全球をカバーする統一的な地理空間情報の整備は重要であり、地球環境問題等に適切に対処することが可能となるため、世界各国の国家測量機関と連携を強化し、データ整備の推進を強化する。 ・引き続きコスト削減に努めながら、確実に実施していく必要がある。また、これまでと同様に契約方式についても、透明性・公平性・競争性の高い発注方法・発注先の選定に努める。 ・業務の実施にあたっては、作業体制及び作業計画表の事前確認を行うとともに、工程管理を通じて実施内容、支出先や使途について明確に把握できるよう適宜確認を行っている。 														
外部有識者の所見															
行政事業レビュー推進チームの所見															
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況															
備考															
関連する過去のレビューシートの事業番号															
	平成22年	459	平成23年	434	平成24年	465									

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

国土地理院
38百万円

職員の旅費等
1百万円

地球地図データの整備及び
更新技術の開発の実施。また、
地球地図国際運営委員会、ア
ジア太平洋GIS基盤常置委員
会の支援

【一般競争、指名競争、随意契約】

A. 民間企業等(20社)
21百万円

地球地図のデータ整備に関
する調査検討業務の実施。ま
た、地球地図整備事業、アジ
ア太平洋GIS基盤常置委員
会に必要な備品、消耗品等の
調達、役務の提供等

【一般競争、随意契約】

B. 公益法人(3社)
16百万円

地球地図整備事業に関する役
務の提供

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万
円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(株)中央ジオマテックス			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	衛星画像による地球地図データ第3版の作成・更新手法の検討	4			
測量	地球地図データ作成及び湖沼図データ作成	1			
計		5	計		0
B.(財)日本地図センター			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	地球地図データ整備・更新等に係る関係国との調整業務	14			
役務	地球地図データ整備・更新等に係る関係国との調整業務(第1回変更)	2			
計		16	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)中央ジオマテックス	衛星画像による地球地図データ第3版の作成・更新手法の検討 外	5		
2	(株)パスコ 本社営業部	地球地図ラスタ検証データ取得 外	4		
3	(株)オークニー	地球地図第3版ラスタデータ作成及び点検プログラムの作成	3	1	87.8
4	(株)マブコン	地球地図の品質管理プログラム第2版の改良	3	1	100
5	メディアアート(株)	地球地図配信等に係るホスティングサービスの提供等業務 外	2	随意契約	-
6	(株)ホンヤク社	地球地図整備業務関連翻訳	1	随意契約	-
7	(株)トランスファクトリー	地球地図国際運営委員会及び国土地理院のホームページの一部についての多言語化	1	随意契約	-
8	(株)ねずらむ	消耗品購入 外	1	随意契約	-
9	(株)パスコ衛星事業部	ALOS観測データ	0	随意契約	-
10	(株)トータル・サポート・システム	消耗品購入 外	0	随意契約	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本地図センター	地球地図データ整備・更新等に係る関係国との調整業務 外	16		
2	(財)水と緑の惑星保全機構	国連持続可能な開発会議(リオ+20)における多目的スペース借り上げ	1	随意契約	-
3	(財)日本国際協力センター	第39回日韓測地・地図協力会議に係る通訳業務	0	随意契約	-
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					